

## 山の心か話 関東大震災100年と“まんたろう”

「私はこれに驚くよりもこれを心ゆく迄味わったといった方がよい」  
——これが関東大震災を振り返っての一文と聞くと、いささか不謹慎では  
と思われるかもしれませんが、筆の主が“まんたろう”こと朝ドラ「らんま  
ん」のモデル・牧野富太郎博士と聞けば、むしろ、その知的好奇心に感心  
させられるから不思議なものです。

大正12年(1923年)9月1日に発生した関東大地震では、小石川植物  
園にも3万人以上が一時的に避難したといえます。その際、江戸時代か  
ら残る旧小石川養生所の井戸が、飲料水として大いに役立ったそうで  
す。そして当時、東京帝国大学理学部の講師として、園内にあった植物学  
教室に在籍していたのが、牧野富太郎博士その人でした。



以来100年、「もう一度生きているうちにあ  
あいう地震に遇えないものか」との博士の述懐  
は少々行きすぎかもしれませんが、現存する井  
戸や大震災記念碑を訪れ、「もう一度」に備え  
る意識を新たにしてみたいはいかがでしょうか。

第4分団 部長 西原伸一郎

## 素顔の 消防団員

File:58



にいくら ひでき  
新倉 英紀 52歳  
H29.2.1入団  
機内食会社勤務  
白山4在住(原町西町会)

今回は国際線客室乗務員も経験した機内食会社に  
勤める、第6分団の新倉班長の登場です。

海水浴場まで120mという生まれ育った家のすぐ  
そばには横須賀市消防団第26分団の分団本部があり、  
小さい頃から消防団の活躍を間近に見ていて、子  
供心にいつもすごいなと感じていました。

小石川消防団への入団のきっかけは、息子が高校  
の野球部に所属していた時、チームメイトの父親が第  
5分団にいらしたので、いろいろと話を聞くうちに興  
味を持ち入団させていただきました。

仕事以外では文京区軟式野球連盟の審判部長を  
務めているので、週末は都内のグラウンドで野球の審

判をしたり、折り紙ヒコーキ協会の准指導員  
として小学校などに出向いて子供たちにいろ  
いろな折り紙ヒコーキを教えたりしています。

まもなく横須賀市よりも文京区での生活の  
方が長くなりますので、引き続き地域のため  
消防団活動を頑張りたいと思います。



南戸崎町会  
みなみとさきちょうかい  
(第3分団受持区域)

昭和25年に大和会(後の戸崎町会)から千川通り  
を隔てて分離する形で誕生した、小石川3丁目にあ  
る南戸崎町会は、町の中央にあった小石川無量院の  
門前町として栄えてきた町会です。

戦後は製本・印刷業の町として、住宅や工場、商店  
が共存する下町風情溢れる町でしたが、バブル期の地価高騰により、  
工場の移転や大型マンションの建設などが進み、町会員も時代と共に  
変わってきました。

歴代の町会長は、人の和を広めて親睦を深め、明るい街づくりに努  
めるとともに、防災と青少年の育成にも力を  
注いできました。現町会長の奥山さんは、  
小石川消防団の副団長を務められた後、小  
石川消防少年団の団長に就任されており、  
また、近年の防災コンクールでは4回の優勝  
と1回の準優勝という好成績を収めるなど、  
防火防災に対して意識の高い町会です。



## 【続報】第51回東京都消防操法大会に向けて

現在、小石川消防団では、10月14日(土)に開催される第51回東京都  
消防操法大会に向けた訓練が佳境を迎えています。

6月から訓練場所を音羽パークロード600の多目的ゾーンから、区  
立柳町小学校横の道路へと移動させていただき、指揮者：高柳副分団  
長、1番員：澤団員、2番員：岡村団員、3番員：斎藤班長、4番員：二ノ宮副  
分団長の選手たちと、指導団員や支援団  
員が一丸となって、小石川消防団悲願の  
優勝を目指して訓練に励んでいます。

地域住民の皆様には、照明や騒音、交通  
規制等で多大なご迷惑をお掛けしており  
ますが、引き続きご理解とご協力のほど、  
心よりお願い申し上げます。



# 消防団員募集

いっしょに守ろう!  
小石川のまち、ひと。

小石川消防団 03-3812-0119  
(小石川消防署内 消防団事務局)

首都東京を守る消防団 <https://tokyo23city-syobodan.jp>

